

## 沿岸各地の水温

(7月26～31日)

日本海 23℃台  
陸奥湾 21～22℃台

津軽海峡 18～21℃台  
太平洋 17～18℃台

今回は茂浦以外の全地域で昇温し、特に佐井、青森では2度以上昇温していました。平均前回差は+1.2度となりました。

昨年と比べると、日本海側が+0.5度、津軽海峡側が-0.3度、陸奥湾内が+0.8度、太平洋が+0.1度で、平均昨年差は+0.3度となっています。

平年と比べると、全海域で平年並みで、平均平年差は+0.2度となっています。

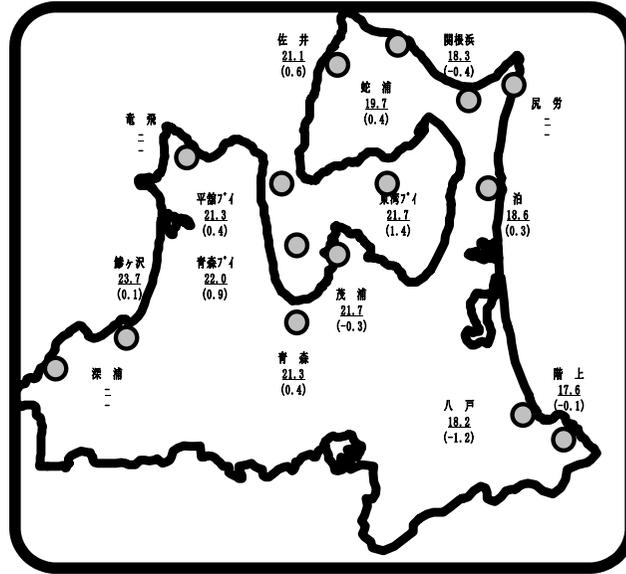


図 定地水温 (7月26～31日)  
平均値 (平年差) ブイ 1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	-	-	-	-
鮭ヶ沢	23.7	+0.1	+0.5	+1.0
竜飛	-	-	-	-
佐井	21.1	+0.6	+0.1	+2.3
青森	21.3	+0.4	+1.0	+2.4
蛇浦	19.7	+0.4	-0.4	+1.5
関根浜	18.3	-0.4	-0.4	+1.7
尻労	-	-	-	-
泊	18.6	+0.3	-0.4	+1.4
八戸	18.2	-1.2	+0.1	+0.1
階上	17.6	-0.1	+0.5	+1.1
茂浦	21.7	-0.3	+0.1	-0.2
平館ブイ	21.3	+0.4	+0.2	+1.4
青森ブイ	22.0	+0.9	+1.0	+0.6
東湾ブイ	21.7	+1.4	+1.8	+1.0
平均	20.4	+0.2	+0.3	+1.2

## 太平洋の海況 (7月30～31日)

概況；沿岸水温は18～19℃台

### ○太平洋沿岸域の表面水温

前回と比べ1度ほど昇温しており、前年同期と比べると1度ほど高い水温となっています。

### ○津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し

18℃等温線でみると東経143度00分付近までと、前回より強まっています。

### ○親潮系冷水の南下

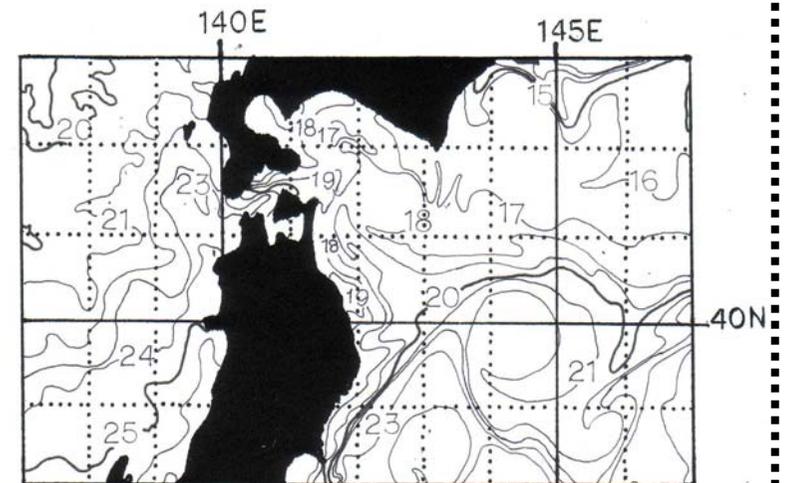
17℃等温線でみると北緯40度50分付近までと、前回より弱まっています。

## 日本海の海況 (7月30～31日)

概況；沿岸水温は23～24℃台

### ○日本海沿岸域の表面水温

前回と比べ1～2度ほど昇温しており、前年同期と比べると2度ほど高い水温となっています。



資料：(社) 漁業情報サービスセンター  
北部太平洋海況情報 第35号 8月1日

## ◎ウスメバルの標識放流

ウスメバルの移動回遊、成長を調べるために、右図のとおり今別町沖、東通村尻労沖及びむつ市脇野沢沖で標識放流を実施しました。放流した稚魚は2007年春季に陸奥湾で採集した天然個体を中間育成したものです。**標識の付いたウスメバルを見つけた方は最寄りの水産関係機関へご報告ください。**

	2008/6/26	2008/6/17	2008/7/9
放流月日	2008/6/26	2008/6/17	2008/7/9
放流場所	尻労沖	今別東部沖	脇野沢沖
現場水深	60～70m	40～50m	17.4m
放流方法	船上放流	船上放流	船上放流
放流尾数	2000	2000	1701
平均TL	109mm	113mm	116mm
標識種類	スパゲティタグ 18mm	スパゲティタグ 18mm	スパゲティタグ 18mm
色	黄色	黄色	黄色
刻印	アス10000*	アス10000*	アス10000*

\* 0000は通し番号

## ◎佐井村牛滝に大ハモ揚がる

7月14日、佐井村牛滝の底建網(水深45m)に、全長182cm、体重11kg(胴幅15cm)の大型の『ハモ』(ウナギ目ハモ科)が入網しました。牛滝でもハモは水揚げされるとのことですが、このように大型のものは見たことがないそうです。

特徴はウナギやマアナゴと同じで、体は細長く、ひも状で、鋭い歯を持っています。大きさは最大2m位になりますが、普通は80cm前後です。主な生息域は水深100m以浅の福島県以南、東シナ海、黄海、インド洋、西太平洋域です。

また、八戸市ではマアナゴのことをハモと呼んでいます。

